

第1章「稼ぐ力」の強化と地域経済循環の活性化

第1節 農業の振興

施策の基本的方向	【基本的方向】 「夢と希望が持てる農業のまち」として、農業者をはじめ、町民みんなでふるさとに誇りを持って北栄町の農業を次の世代へつなげていくことを目指します。	【令和3年度までの評価】			【令和4年度までの評価】			【令和5年度までの評価】			【基本的方向に対する意見】	【意見に対する回答】
		重要目標達成指標(KGI)	基準値(R1)	R3(2年目) 実績値/評価	R4(3年目) 実績値/評価		R5(4年目) 中間 実績値/評価		目標値(R7)	方向性や数値目標の見直しに関する意見	【意見に対する回答】	
		町内農業総生産額 ※市町村別農業生産額推計	86.4億円 (H30)	数値なし ※調査結果の未公表 評価なし	86.3億円 (R2) やや遅れている	国の発表する指標	農家数の減少などにより全体的には減少した。	83.1億円 (R3)/ やや遅れている	国の発表する指標	農家数及び作付面積の減少などにより全体的には減少した。	89.4億円	
	耕作放棄地の面積	36.1ha	46.6ha 遅れている	51.3ha 順調	-	・農業委員などによる現地調査、農地中間管理機構などを活用しての遊休農地の解消を図っている。 ・新たな遊休農地を増やさないようするため、農家相談等を実施している。 ・遊休農地は、多少の減少はみられるが、横ばい状態となっている。	76.6ha やや遅れている	-	・農業委員などによる現地調査、農地中間管理機構などを活用しての遊休農地の解消を図っている。 ・新たな遊休農地を増やさないようするため、農家相談等を実施している。 ・遊休農地は、多少の減少はみられるが、横ばい状態となっている。	35.0ha	【中間】 ①遊休農地や耕作放棄地はどのような活用方法がありますか？ ②面積が増えていますが、達成に近づきますか？	【回答】 ①農地の条件がよい場合は担い手をはじめの内としての活用を進めます。条件が悪い場合は遊休農地の維持や原野に戻すなど将来を見据えた対応を検討します。 ②達成は困難ですが、放棄地の抑制に努めます。

具体的施策	具体的施策	具体的な事業	重要業績評価指標(KPI)	基準値(R1)	R3(2年目) 実績値/評価		R4(3年目) 実績値/評価		R5(4年目) 中間 実績値/評価		目標値(R7)	方向性や数値目標の見直しに関する意見	【意見に対する回答】	
					実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価				
(1)農産物のブランド化の推進	生産者、JA、行政など関係者が連携して、都市部をはじめとする大消費地での北栄町農産物のPR、直売を行い、ブランド力の一層の強化を図ります。	・北栄町ブランドPR・販売促進事業 ・農産物ブランド推進活動支援事業 ・すいか・ながいも健康マラソン大会	主要品目の単価 ※1割アップ	・西瓜 3,396円/ケース ・ねばりっこ 380円/kg ・らっきょう 606円/kg ・ぶどう 950円/kg	・西瓜2,081円/玉 (4162円/ケース) 順調 ・ねばりっこ 391円/kg 概ね順調 ・らっきょう 671円/kg 順調 ・ぶどう 1,212円/kg 順調	・西瓜 3,761円/ケース 順調 ねばりっこ 412円/ケース 順調 らっきょう 640円/kg 順調 ぶどう 1,318円/kg 順調	ほとんどの作物が高単価で推移した。	県内外で農産物PRイベントを実施。 ・すいか・ながいも健康マラソン大会の案内と一緒に、すいかPR、ながいもPRのチラシを同封し、送付した。(送付件数:2,989件)	・西瓜 3,907円/ケース ねばりっこ 一未確定 らっきょう 524円/kg ぶどう 一未確定 やや遅れている 大栄西瓜 1,200玉 とろろ汁 4,000食配布	西瓜は順調。その他農産物は天候の影響を受けR4を下回った。 6/18に開催したすいか・ながいも健康マラソン大会にて大栄西瓜ととろろ汁を振舞った	県内外で農産物PRイベントを各生産部、JA、県等と協力し実施。試食販売は各会場で好評。 北栄町の特産品をより知っていただくためすいか・ながいも健康マラソン大会会場にて、大栄西瓜ととろろ汁を振舞い、県内外者にPRした。	・西瓜 3,735円/ケース ・ねばりっこ 418円/kg ・らっきょう 666円/kg ・ぶどう 1,045円/kg		
(2)新たな販路開拓、農商工連携	北栄町農産品を活用した商品開発や販路開拓等を行う者の支援や町内観光農園及び飲食店と連携した町内周遊イベントを実施し、北栄町農産品の付加価値を高めるとともに町内外に向けた魅力発信に取り組めます。	・食と農の魅力創造支援事業 ・ほくえい味覚めぐり	新たな商品開発件数	商品開発 1件/年	商品開発 1件/年 やや遅れている	商品開発 1件/年 やや遅れている	農事組合法人田井宮農組合	・6次化に意欲のある者からの相談に随時対応し、必要に応じて県農業振興課等と連携しながら助言を行った。 ・6次化に取り組む者に対して、食と農の魅力創造支援事業補助金により支援を行った	販路拡大1件/年 やや遅れている	・合同会社鳥取農産	・6次化に意欲のある者からの相談に随時対応し、必要に応じて県農業振興課等と連携しながら助言を行った。 ・6次化に取り組む者に対して、食と農の魅力創造支援事業補助金により支援を行った	商品開発 3件/年		
(3)新規就農への参入支援と担い手の育成・確保	将来、地域の担い手となる新規就農者や認定農業者、集落営農組織、法人等の育成・確保を図ります。	・農業経営サポート事業 ・就農農相談員の配置 ・農の雇用事業の活用 ・先進地視察研修 ・集落営農組織化、法人化支援事業 ・青年就農給付金、就農応援交付金、親元就農促進交付金、就農条件整備事業 ・アグリスタート研修(事業主体:鳥取県)	求人者数 ※常時雇用	15人/年	延24人/年 順調	1人/年 やや遅れている	町の人材紹介センター	町の人材紹介センターへは少なかったが、JAの紹介センターと連携して紹介等を行った。	0人/年 遅れている	町の人材紹介センター	町の人材紹介センターへは相談はなかった。JAの紹介センターと連携した。	20人/年		
			新規就農者数	8人/年	5人/年 やや遅れている	14人/年 順調	農業次世代人材投資資金・経営開始資金 13人 就農応援交付金 4人 親元就農促進支援交付金 14人 (就農条件整備事業8人)	・国・県等の補助金を活用して新規就農者の支援を行った。	0人/年 遅れている	新規就農者なし	国・県等の補助金を活用して新規就農者の支援に取り組んだ。 R4年度までに就農した者へのR5.9月末の支援実績 農業次世代人材投資資金 ・経営開始資金 11人 就農応援交付金 3人 親元就農促進支援交付金 10人 (就農条件整備事業3人)	10人/年		
(4)イチゴ産地化の取り組み	(株)北栄ドリーム農場の取り組みを核に、地域おこし協力隊制度を活用してイチゴ栽培の技術を有する人材を養成するとともに、JA・県等の関係機関が連携して、イチゴの産地化に取り組めます。	・イチゴ地域おこし協力隊事業 ・イチゴ栽培資材導入支援	イチゴ栽培における雇用者数	3人	2人 地域おこし協力隊(5名)除く 遅れている	2人 地域おこし協力隊(7名)除く 遅れている	・生産管理者1名、社員1名	・R2の人員体制から1名減	2人 地域おこし協力隊(5名)除く 遅れている	-	・R2の人員体制から1名減	6人		

第2節 商工業の振興

施策の基本的方向	【令和3年度までの評価】			【令和4年度までの評価】			【令和5年度までの評価】			【基本的方向に対する意見】		【意見に対する回答】	
	<p>新型コロナウイルスによる地域経済対策として、事業継続を支援する取り組みを進めた。将来にわたって地域内循環を活性化させる新たな取り組みとして町商工会が実施主体となる「ほくほくカード」の取り組みを支援し、持続可能な地域経済の維持・発展のきっかけづくりを行った。</p> <p>商工会と連携して、物価・燃油高騰対策として、事業継続を支援する取り組みを進めた。「ほくほくカード」の取り組みでは、必要に応じて町民生活を応援するためのポイントチャージキャンペーンを実施し、地域内循環の活性化を進めた。</p> <p>商工会と連携し、起業家数等の増加につなげた。商工業の活性化、雇用・人材確保いずれの施策項目にも遅れが見られるため、情報発信・周知に努める。</p>									【中間】 具体的にどのような情報発信、周知をするのか、見直しが必要ではないのか。		【回答】 事業者向けには、町報やHP、商工会を通じて、各施策をまとめて周知しております。今後はカテゴリー別に施策を区分するなど、事業者にとって分かりやすい周知に見直します。	
	重要目標達成指標(KGI)	基準値(R1)	R3(2年目) 実績値/評価	R4(3年目)			R5(4年目) 中間			目標値(R7)	方向性や数値目標の見直しに関する意見	【意見に対する回答】	
製造品出荷額等	83.7億円(H30) ※速報値	数値なし ※調査結果の未公表	実績値	66.2億円(R3) 遅れている	-	取組内容・状況	実績値/評価	数値なし ※センサスはR8実施予定	具体説明	取組内容・状況	83.7億円を維持		
製造業従業者数	553人 ※速報値	評価なし	実績値	560人 順調	-	・物価・燃油高騰下における事業継続を支援するとともに、必要に応じて規模拡大等に係る支援を行った。	-	-	-	・アフターコロナにおける事業継続を支援するとともに、必要に応じて規模拡大等に係る支援を行った。	553人を維持		
年間商品販売額	266.9億円(H28)		実績値	206.3億円(R3)	-		-	-	-		266.9億円を維持		
卸売業・小売業従業者数	711人(H28)		実績値	609人(R3)	-		-	-	-		711人を維持		

※達成状況は経済センサス活動調査(令和3年、8年に実施予定)で確認。

具体的施策	具体的な事業	重要業績評価指標(KPI)	基準値(R1)	R3見込(2年目)	R4(3年目) 期末			R5(4年目) 中間			目標値(R7)	方向性や数値目標の見直しに関する意見	【意見に対する回答】	
				実績値/評価	実績値	具体説明	取組内容・状況	実績値/評価	具体説明	取組内容・状況				
(1)商工業活性化の推進	<p>商工会と連携して町内事業者への支援を行い、本町の商工業活性化を促進します。</p> <p>規模を拡大しようとする事業者に対して、北栄町企業立地促進奨励金制度により、有効な支援を行います。</p> <p>また、「名探偵コナンに会えるまち」の魅力を支え、由良宿周辺地域での創業を重点的に支援するとともに、空き店舗の有効活用と事業継承を支援し、既存の商店街の賑わい創出を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 企業立地促進奨励金 創業支援事業 由良宿まちづくり活性化支援事業 地域商業自立促進事業(事業主体:北栄町商工会) 町内及び町外企業訪問 	商工会会員数	377社	402社 順調	400社 順調	-	・商工会と連携し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響を受けた町内事業者の事業継続に向けた支援を行った。	410社 順調	-	・商工会と連携し、エネルギー・原材料価格の高騰化の影響を受けた町内事業者の持続的発展に向けた支援を行った。	380社		
			町内企業増設社数 ※企業立地促進奨励金申込み件数	4社/年	8社/2年 順調	11社/3年 やや遅れている	事前申込:2件	・工場を新設・増設及び機器の設置を行う事業所に対し、企業立地促進奨励金の案内を行っている。	11社/4年 やや遅れている	0件	・工場を新設・増設及び機器の設置を行う事業所に対し、企業立地促進奨励金の案内を行っている。	25社/6年		
			町内起業家数 ※創業支援事業利用件数	3件/年	8件/2年 順調	13件/3年 順調	5件	・北栄町創業支援事業、北栄町由良宿まちづくり活性化支援事業において起業・創業を支援した。	18件/4年 順調	5件	・北栄町創業支援事業、北栄町由良宿まちづくり活性化支援事業において起業・創業を支援した。	18件/6年	【中間】 コナン通り周辺の創業も増えてきました。地域にとってもチャンスだと思うので住民に恩恵がある形になればと思います。	【回答】 創業によって町が賑わい、活性化し、結果として住民の方への恩恵につながるものと考えますので、商工会と連携しながら起業・創業への支援を続けていきます。
(2)雇用・人材確保施策の充実	<p>雇用の安定、新たな雇用の創出のため、雇用相談・職業紹介の場の提供、職業能力向上の推進、雇用創出の取り組みに対する支援、障がいのある人の就労支援など、関係機関と連携しながら各種の取り組みを進めます。</p> <p>また、事業者が求める人材確保に係るマッチング支援を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 町担当課に開設している雇用相談・無料職業紹介所窓口の運用 町ホームページによるハローワーク求人紹介 農業経営サポーター事業との連携支援 職業訓練及び資格取得研修の周知 ふるさと就職応援事業 企業立地促進奨励金の活用 町内事業所求人情報コーナーの設置 障がい者雇用支援・啓発事業 あいサポーター研修の実施による企業への啓発、相談支援の充実 	特別創業支援認定者数	5件/年	12件/2年 順調	16件/3年 順調	4件	・産業支援センターや商工会が実施する経営支援相談や研修会に参加して認定された者に対し、町から認定証明書を交付し、創業に必要な支援を行った。	20件/4年 順調	4件	・産業支援センターや商工会が実施する経営支援相談や研修会に参加して認定された者に対し、町から認定証明書を交付し、創業に必要な支援を行った。	30件/6年		
			職業能力向上研修者の正規雇用者数 ※町内者が研修受講し、正規雇用となった人数	7人/年	5人/1年 やや遅れている	未算出 ※R5.4月以降に判明 評価なし	-	・技能講習等の職業能力開発に関する案内を、庁舎内に設置している「求人情報コーナー」に配架し、就職者及び在職者に周知した。	未算出 ※R6.4月以降に判明 評価なし	-	-	45人/6年		
			企業立地促進奨励金利用雇用者数	6人/年	8人/2年 概ね順調	9人/3年 遅れている	1人	・事業所の新設並びに増設に伴い、町内者を雇用する事業所に奨励金を案内する。	11人/4年 遅れている	2人	・事業所の新設並びに増設に伴い、町内者を雇用する事業所に奨励金を案内する。	40人/6年	【中間】 まだ制度を知らない事業者が多く、また設備増設の話が進んでから制度を知るケースもあります。本来は事業該当になれたケースもあり、制度の周知と可能であれば事業前着手のような制度見直しもお願いします。	【回答】 他の制度と同様に交付決定前の着手は認められませんが、事業者が制度を活用できるよう商工会や事業所訪問を通じて事前に情報共有しているところです。引き続き、商工会や事業所訪問を通じて、制度の周知と情報共有に努めます。

第3節 観光の振興

施策の基本的方向	【令和3年度までの評価】			【令和4年度までの評価】			【令和5年度までの評価】			【基本的方向に対する意見】		【意見に対する回答】
	<p>新型コロナウイルス感染症の影響から、入込客数などの実績は大幅に減少した。非接触などの感染対策や地元需要喚起対策に取り組みながら、令和4年度に向けて誘客体制を整備している。</p>			<p>コロナ規制緩和が行われたことで、客足が戻り実績値は概ね達成することができた。 インバウンド客は、ピーク時には及んでいないが、鳥取中部推進機構等と連携し、引き続きプロモーションを強化していく。 コロナ禍の落ち込みから、客足が回復に転じてきた。 高規格幹線道路の完成や道の駅再整備を見据え、国内外のプロモーションを引き続き強化していく。</p>			<p>米子ソウル便、米子香港便、台湾チャーター便が再開されインバウンド客の取り込みも回復傾向にある。 コロナは5類に移行し、客足は目に見えて増加している。引き続き、イベント、PRを強化し、一層の取り込みを狙っていくものとする。</p>			<p>【中間】 山陰道開通後に通過客が増え、ふるさと館や道の駅に立ち寄る客の減少が危惧される。今からの対策が必要ではないか。 ふるさと館リニューアルまでの間、一時的な来館者の減少が予想されるが対策は？</p>		【回答】 ふるさと館で行っているアンケートでは、ふるさと館を訪れた方の旅の目的は、7割以上の方が、ふるさと館・コナン通りと回答しています。引き続き、タイミングのあったイベント等を実施し誘客に努めます。
	重要目標達成指標 (KGI)	基準値(R1)	R3(2年目) 実績値/評価	R4(3年目) 期末			R5(4年目) 中間			目標値(R7)	方向性や数値目標の見直しに関する意見	【意見に対する回答】
北栄町観光入込客数	76万5千人/年	44万3千人/年 遅れている	55万8千人/年 (見込) 概ね順調	前年比:125% 44万3千人 →55万8千人	・県のガイドラインを参考に感染対策を講じながらイベントを開催するなど、観光客を誘致した。 ・各施設では手指消毒や検温器導入等、感染拡大防止策を講じながら運営した。	41万9千人 (9月末)	順調に客足は戻ってきていると判断できる。昨年比同程度の入込客数を見込む場合、今後+24万人程度となる。	コロナ規制が緩和され人流は戻ってきている。道の駅「大栄」のレストランオープン、ふるさと館では時期に合わせたタイムリーなイベントを打っている。北条オートキャンプ場も堅調に利用者が増えている。	105万7千人/年			

具体的施策	具体的施策	具体的な事業	重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	R3見込(2年目)	R4(3年目) 期末			R5(4年目) 中間			目標値(R7)	方向性や数値目標の見直しに関する意見	【意見に対する回答】
					実績値/評価	実績値	具体説明	取組内容・状況	実績値/評価	具体説明	取組内容・状況			
(1)「名探偵コナンに会えるまち」の推進等による観光地づくり	「名探偵コナンに会えるまち」の推進による観光ルートづくりを推進するとともに、飲食・物販施設の開設等を促すことで交流人口の増加・地域経済の活性化を図ります。 青山剛昌ふるさと館を、「名探偵コナンに会えるまち」北栄町のシンボルとして、必要な機能を取り入れ充実させ、町民はもちろんのこと、ファンや観光客にも愛される施設に再整備します。また、作品の保存・展示やイベントの企画運営に携わる専門人材の育成や活用を進めます。	・青山剛昌ふるさと館の再整備事業 ・コナン通り及び周辺の修景整備 ・青山剛昌ふるさと館及び周辺におけるイベント・企画展の開催 ・SNSを用いた情報発信事業 ・国内外プロモーション活動事業 ・観光情報の多言語化 ・新たな観光ルート作成 ・由良駅(コナン駅)整備事業 ・すいか・ながいも健康マラソン大会 ・由良台場・六尾反射炉発信、連携事業	青山剛昌ふるさと館入館者数	22万人/年	8万3千人/年 遅れている	13万4千人/年 概ね順調	・アフターコロナを見据えた施設運営により、入館者数は徐々に回復。 ・青山剛昌ふるさと館及び周辺におけるイベントや企画展を、感染対策を行い開催。 ・入館制限の見直しや前売券導入など、実情と感染状況をみながら、受け入れを拡大。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大が縮小なかで、入館者数が増加へ転じた。令和5年1月以降、海外からの入館者も増加してきており、回復の兆しがある。 ・目標の時期までに感染終息すれば、リベンジ消費需要やプロモーション・展示充実が奏功して、目標値達成も見込まれる。	10万8千人 (9月末時点) 順調	・コロナ5類移行に伴い入館者数が回復傾向。 ・コロナ5類移行やコナン映画ヒットの影響もあり、入館者数は回復傾向にある。 ・混雑緩和対策でGW後や秋シーズンにイベントを打ったことにより、繁忙期と閑散期の差が少なくなり、毎月単位で一定の入館を得られている。 ・海外旅行者も回復傾向にあるため、R7年の目標達成を目指したい。	20万人/年				
(2)道の駅の整備	本町の2つの道の駅を、観光情報を発信する広域交流拠点として位置づけ、道の駅「北条公園」について、国や施設の管理運営者と連携しながら再整備を進めます。また、道の駅「大栄」についても、再整備に関する検討を行います。	・道の駅再整備事業	道の駅「ほうじょう」への立寄者数(レジ通過者数)	4万3千人/年	2万人/年 遅れている	1万人/年 順調	・情報コーナーの配架スペースを町で管理し、近隣市町村のPRも行っている。 ・新型コロナウイルス感染症の影響及び再整備事業による店舗閉鎖により入れ込み客数が減少している。 ・道の駅北条公園の再整備が完了(R7)した際は、新規オープンに伴い入れ込み客数の増加も見込まれる。	道の駅「ほうじょう」は現在再整備のため、実績はありません。			33万人/年	【中間】 道の駅～道路～ふるさと館と大きく変わる時期なので、商業的にもチャンス。 道の駅だけで帰らせない仕掛けを望みます。	【回答】 道の駅「ほうじょう」では、オープンに向け出荷・取引希望者とのマッチングが行われます。また、道の駅での販売を目的に行う商品開発等に係る補助金を創設し、事業者が商機を逃さないよう支援を行っていきます。 【観光】観光案内情報の掲示、パンフレットの配架するなど、町内観光施設への誘客施策を講じていきます。	
			道の駅「大栄」への立寄者数(レジ通過者数)	31万1千人/年	24万8千人/年 遅れている	26万4千人/年 概ね順調	・店舗休業による入込客数の影響はあるものの、コロナ禍による移動制限緩和により回復傾向にある。 ・情報コーナーの配架スペースを町で管理し、近隣市町村のPRも行っている。 ・新型コロナウイルス感染症の影響が著しく、県外からの入れ込み客数が減少傾向にある。 ・青山剛昌ふるさと館の再整備事業の進捗及び、山陰道の再整備事業によって、周辺エリアからの誘客が大きく変わると予想される。	順調に客足は戻ってきていると判断できる。昨年比同程度の入込客数を見込む場合、今後+12万人程度と推測する。	・令和5年3月末に新しくレストランがオープンしたことで、空き店舗となって懸念されていた心配が解消された。また、新規オープンに伴い、誘客にも繋がっている。今後の展開次第では目標値達成も十分に見越せる。	32万6千人/年				
(3)広域観光の促進	鳥取県中部圏域の観光関係団体と連携しながら、特産品をはじめ地元素材を活用した周遊性のある取り組み及び国内外への戦略的な魅力発信を行います。また、山陰道(北条道路)及び北条湯原道路等の高速ネットワークを活用した広域的な観光ルートを整備します。	・広域観光連携モデル事業	鳥取県中部圏域観光入込客数	176万1千人/年 (H30年)	124万6千人/年 (R2年) 遅れている	126万5千人/年 (R3年) 概ね順調	前年比:101% で微増	・鳥取中部観光推進機構と連携し、プロモーションの他、県外への誘客キャンペーンを実施した。 隣接2町と同機構と連携し、地元需要喚起を図るための、キャンペーンを実施した。 新型コロナウイルス感染症の影響による県外からの入れ込み客数の減少傾向も、移動制限緩和や旅行支援施策等により回復基調にある。	159万9千人/8月末(推進機構) 161万2千人 R4年(県)	コロナ規制が解禁され、人通りは戻っている。昨年比と同程度の入込客数を見込む場合、今後+260万人を超える見込み。	鳥取中部推進機構が中心となり、台湾、香港、韓国を対象としたインバウンド取込みに力を入れている。コロナ規制の緩和に伴い、人流は戻りつつある。目標値達成は十分に達成できる。 ↓ 【県の統計方法と、鳥取中部推進機構の統計の取り方が違いますが、いずれにせよ目標は達成可能な見通しです。】	250万人/年		

第4節 環境・エネルギー施策の推進

施策の基本的方向	【令和3年度までの評価】			【令和4年度までの評価】			【令和5年度までの評価】			【基本的方向に対する意見】	【意見に対する回答】
	<p>【基本的方向】 2019年12月に表明した「気候非常事態宣言」に基づき、2050年までのゼロカーボン(人為起源のCO₂排出の実質ゼロ)に向けた取り組みを推進します。徹底した省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの最大限の活用によりCO₂の排出削減を行うとともに、それらの取り組みを地域でお金が回る仕組みづくり、健康かつ快適な生活の実現、災害時のための分散型エネルギーシステムの構築などにつなげます。</p>			<p>全体的に重要目標達成指標の実績値は増加し順調に進捗している。 各種補助金制度について町HPや町報で周知して省エネ、再エネへの関心を高めて設備導入等を支援することで、地元産業の振興、災害に強く安心して快適に暮らせる住まいの実現につなげた。令和3年度には地域新電力会社が設立され、令和4年度の公共施設の地域新電力(地域の再生可能エネルギーを活用)契約に向けた準備を進めている。</p>			<p>目標達成項目あり。引き続き環境啓発に努め、環境にやさしいまちの取り組みを続ける。</p>				
	重要目標達成指標(KGI)	基準値(R1)	R3(2年目)実績値/評価	R4(3年目) 期末		R5(4年目) 中間			目標値(R7)	方向性や数値目標の見直しに関する意見	【意見に対する回答】
再生可能エネルギー導入量 ※町が関与した導入	15,807kW	16,010kW 順調	実績値 16,096kW 達成済	具体説明 ・創エネ補助金(太陽光発電) 86kW	取組内容・状況 ・町HPで補助金交付状況等を随時掲載 ・町報(2022.5月号)で補助制度についての記事掲載	実績値/評価 16,167kW 達成済	具体説明 ・創エネ補助金(太陽光発電) 71kW	取組内容・状況 ・町HPで補助金交付状況等を随時掲載 ・町報(2023.6月号)で補助制度についての記事掲載	15,977kW		

具体的施策	具体的な事業	重要業績評価指標(KPI)	基準値(R1)	R3見込(2年目)	R4(3年目) 期末		R5(4年目) 中間			目標値(R7)	方向性や数値目標の見直しに関する意見	【意見に対する回答】		
				実績値/評価	実績値	具体説明	取組内容・状況	実績値/評価	具体説明				取組内容・状況	
(1)再生可能エネルギー等の活用によるまちづくり	<p>風力、木質バイオマスなど地域の再生可能エネルギーを活用する取り組みを一層推進するとともに、家庭や事業所における再生可能エネルギー等設備導入の取り組みを支援します。また、地域新電力事業、熱供給事業など、エネルギーを地産地消できる仕組みづくりを行います。</p>	<p>・公共施設等への創エネ等設備の導入推進 ・風力発電事業の推進 ・北栄町バイオマス産業都市構想の推進 ・地域新電力事業に関する検討 ・家庭用創エネ設備等設置費補助金事業</p>	家庭用創エネ設備等設置件数	354件	422件 順調	458件 順調	・太陽光発電 18件 ・蓄電池等 18件	・町HPで補助金交付状況等を随時掲載 ・町報(2022.5月号)で補助制度についての記事掲載 ・住民ワークショップなどで周知	487件 順調	・太陽光発電 13件 ・蓄電池等 13件 ・薪ストーブ等 1件 ・HEMS 2件	・町HPで補助金交付状況等を随時掲載 ・町報(2023.6月号)で補助制度についての記事掲載 ・住民ワークショップなどで周知	430件		
			中部圏域における地域新電力会社の立ち上げ支援	0社	1社 順調	1件 達成済	—	—	1件 達成済			1社		
			公共施設の地域新電力(地域の再生可能エネルギーを活用)契約率	0%	0% 評価なし	0% 順調	・鳥取みらい電力が小売電気事業の認可を取得	R5.4から公共施設への電力供給(実質再エネ100%電力)を開始予定 ※融雪装置(冬季のみ)はこれまでどおり中国電力。風力は切り替えに時間がかかり、夏ごろを予定	約95% 順調	公共施設の電気を鳥取みらい電力に切り替え済	R5.4から公共施設の電気を鳥取みらい電力へ切り替え ※融雪装置(冬季のみ)はこれまでどおり中国電力。風力は切り替えに時間がかかり、3月末を予定	50%		
(2)環境にやさしく、健康で快適なライフスタイルへの転換	<p>断熱性能に優れた省エネ住宅の建築・改修の普及促進により、エネルギー消費を減らすとともに、健康で快適な住生活の実現に取り組めます。また、まずは公共が模範を示すべく、公共施設等におけるエネルギー利用のあり方等について検討します。</p>	<p>・省エネリフォーム助成事業 ・省エネ建築や省エネリフォームに関する町民、事業者への普及啓発事業 ・CO₂大幅削減を実現する公共施設等のあり方検討及び適正管理</p>	省エネリフォーム戸数	149戸	172戸 概ね順調	180戸 概ね順調	・断熱改修 7件 ・高効率給湯器設置 3件 ※重複住戸あり	・町HPで補助金交付状況等を随時掲載 ・町報(2022.5月号、11月)で補助制度についての記事掲載 ・住民ワークショップなどで周知	181戸 要見直し	・断熱改修 1件 国の補助事業の要件を満たさない場合に町補助金利用	・町HPで補助金交付状況等を随時掲載 ・町報(2023.6月号)で補助制度についての記事掲載 ・住民ワークショップなどで周知	250戸		

第2章 住みたくなる・住み続けたくなるまちづくり

第1節 子どもを産み育てやすいまちづくり

施策の基本的方向	【令和3年度までの評価】			【令和4年度までの評価】			【令和5年度までの評価】			【基本的方向に対する意見】	【意見に対する回答】
	各種子育て支援事業を予定どおり実施しており、今後も支援体制の充実するため、庁内の連携のあり方について検討を進めた。			子育て支援センターを中心に相談等を重ねた。こども園の中途入所に対する待機については、引き続き有資格者の確保に努める。			他課からネウボラ内に児童虐待対策業務を移管し、支援体制の充実を図った。				
	重要目標達成指標(KGI)	基準値(R1)	R3(2年目)実績値/評価	R4(3年目) 期末			R5(4年目) 中間			目標値(R7)	方向性や数値目標の見直しに関する意見
町の子育て支援施策に満足する人の割合 ※町民アンケートのうち、「関心がない」「無回答」を除いた構成比	71.8%	数値なし ※調査は令和7年度に実施	実績値	具体説明	取組内容・状況	実績値/評価	具体説明	取組内容・状況	80.0%		
			- 評価なし	※調査は令和7年度に実施	・子育て支援センター(ネウボラ)によるワンストップ窓口として総合的な支援サービスを提供した。 ・出産子育て応援交付金事業を開始し、相談支援と経済的支援を充実させた。 ・子育てと仕事の両立支援として、保育料等無償化などの経済的負担軽減や、病児保育、一時預かりなど保育サービスも幅広く提供した。	-	※調査は令和7年度に実施	・子育て支援センター(ネウボラ)によるワンストップ窓口として総合的な支援サービスを提供した。 ・出産子育て応援交付金事業を開始し、相談支援と経済的支援を同時に実施した。			

具体的施策	具体的な事業	重要業績評価指標(KPI)	基準値(R1)	R3見込(2年目)	R4(3年目) 期末			R5(4年目) 中間			目標値(R7)	方向性や数値目標の見直しに関する意見	【意見に対する回答】	
				実績値/評価	実績値	具体説明	取組内容・状況	実績値/評価	具体説明	取組内容・状況				
(1)結婚・出産・子育てに安心、喜びを感じられる環境づくり	結婚の意思がある若い世代の希望の実現を図るため、新婚世帯に対する金銭面等のサポートを行います。また、妊娠・出産について、より多くの人が希望を叶えられるよう特定不妊治療費助成を行うとともに、妊娠適齢期についての普及啓発を行います。安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを推進します。	・乳幼児健診・子育て支援センターでの乳幼児相談 ・離乳食講習会 ・育児教室 ・赤ちゃん訪問(保健師) ・乳幼児全戸訪問(訪問相談員) ・養育支援訪問 ・個別支援プランの作成 ・産前・産後サポート ・結婚新生活支援事業(新婚世帯に対する住居費等に関する支援) ・特定不妊治療費助成事業 ・若者への啓発事業(親育ち事業、成人式にパンフレット配布)	98%	99.0% (3歳児健診) 順調	97.3% (3歳児健診、3月末) 概ね順調	3歳児健康を受診した保護者のうち、育児について相談したり、話したりする人がいると答えた人の割合。	・育児教室における相談支援、「相談相手がない方の対応」、「妊娠期からの早期介入」は中間と同様。 ・産後早期に支援者が不足する方に対し、産後ケア事業や養育訪問事業による支援を行った。	100% (3歳児健診) 順調	3歳児健康を受診した保護者のうち、育児について相談したり、話したりする人がいると答えた人の割合。	・育児教室における相談支援、「相談相手がない方の対応」、「妊娠期からの早期介入」は保健師等による面談を行い保護者の不安解消に努めています。 ・産後早期に支援者が不足する方に対し、産後ケア事業や養育訪問事業による支援を行った。	100%	【中間】3歳児健診そのものの受診率は100%ですか？	【回答】例年、受診率100%で推移しています。	
(2)子育て世代への支援と幼児教育・保育サービスの充実	保育料の無償化や在宅育児世帯支援事業給付金等による子育て世代への財政的支援や、延長保育、病児・病後児保育、休日保育、放課後児童クラブの実施による子育て支援の充実を図ります。	・延長保育事業 ・一時預かり事業 ・休日、病児・病後児保育事業 ・放課後児童健全育成事業 ・在宅育児世帯支援事業給付金 ・幼児教育・保育無償化 ・子どもの医療費助成制度 ・ひとり親家庭医療費助成制度 ・インフルエンザワクチン等の接種補助 ・新生児の家庭へのごみ袋無料配布	0人	2人 遅れている	8人 遅れている	入所保留通知書の送付数	・職員配置について、国基準を上回る北栄町の基準を設け、乳幼児が安心して過ごせる人的環境を整えたが、申込のあった児童全てを受け入れる職員配置は職員が不足するためできなかった。 ・在宅育児支援事業により、家庭で保育する保護者に給付金を支給した。	0人	厚生労働省「保育所等利用待機児童数調査」基準による計上	・職員配置について、国基準を上回る北栄町の基準を設け、乳幼児が安心して過ごせる人的環境を整えたが、今後申込のあった児童全てを受け入れる職員配置は職員が不足するためできない可能性がある。 ・在宅育児支援事業により、家庭で保育する保護者に給付金を支給した。	0人の継続			
				0人	0人 順調	0人 順調	申込のあった全ての利用対象児童を受入れた。	・申込のあった全ての利用対象児童を受入れた。 ・保護者が就労等で昼間家にはいない児童を放課後に預かり、児童の健全育成を行った。	0人	申込のあった全ての利用対象児童を受入れた。	・保護者が就労等で昼間家にはいない児童を放課後に預かり、児童の健全育成を行った。	0人の継続		
				0人	0人 順調	0人 順調	申込のあった全ての利用対象児童を受入れた。	・申込のあった全ての利用対象児童を受入れた。 ・保護者が就労等で昼間家にはいない児童を放課後に預かり、児童の健全育成を行った。	0人	申込のあった全ての利用対象児童を受入れた。	・保護者が就労等で昼間家にはいない児童を放課後に預かり、児童の健全育成を行った。	0人の継続		

第2節 未来をつくる教育の推進

<p>施策の基本的方向</p> <p>【施策の基本的方向】 地域の将来を担う人材の確保が課題となる中、子どものときから自分の生まれ育った町と地域の魅力を知り、誇りと愛着を持つための機会を提供します。 児童生徒の「生きる力」を育成するため「家庭」「地域」「学校」が連携し「確かな学力づくり」「豊かな心と人間関係づくり」「健康な体と体力づくり」に取り組みます。</p>	【令和3年度までの評価】		【令和4年度までの評価】		【令和5年度までの評価】		【基本的方向に対する意見】		【意見に対する回答】		
	<p>新型コロナの影響で、鳥取中央育英高校の「地域探究の時間」では、現地での活動が制限されたり、中止されたりするなどの影響があったが、オンラインで学生が交流したり、成人式や発表会をオンライン形式で行ったりする等、新たな活動方法も生まれている。 学校教育場面では、ふるさとキャリアパスポートを活用しながら、地域やふるさとを考える機会づくりを進めた。また、コミュニティスクールの推進により地域の方々を交流することができ、地域について考える機会が増えている。</p>		<p>学力面の低下が顕著に出ている。小中高の連携、生涯学習など学校と地域の連携が改めて重要。</p>		<p>コロナ禍の制約も本格的に解除、予定していた事業を着実に実施できている。学習面では英語学習の課題が顕著に現れている。</p>		<p>【中間】 英語学習の課題とは何か。テスト結果か。</p>		<p>【回答】 課題は授業改善と考えます。英語学習で大切なことは学習に対して抵抗感を減らすことで、ALTを活用しながら、ネイティブに触れる時間を増やし、実際に英語を使用して自分の考えや気持ちを伝え合う学習を取り入れる必要があると考えます。</p>		
	重要目標達成指標(KGI)	基準値(R1)	R3(2年目) 実績値/評価	R4(3年目) 期末		R5(4年目) 中間		目標値(R7)	方向性や数値目標の見直しに関する意見		【意見に対する回答】
	高校卒業後、地元を離れたが将来は地元に戻って就職したいと思う人の割合 ※成人式アンケート	51%	50% 遅れている	実績値 53.9% 順調	<p>具体説明 希望する人 31.46% どちらかという希望する人 22.47%</p>	<p>取組内容・状況 「地域探究の時間」における地域の魅力の発掘、課題解決を図る人材育成。 ・ボランティア体験により地元の理解を深め、社会性を学んでいる。</p>	<p>実績値/評価 —</p>	<p>具体説明 —</p>	<p>取組内容・状況 成人式(二十歳の集い)でアンケートを実施するため、現時点では未実施</p>	55%	【中間】 成人式アンケートの結果を公表されたい。

具体的施策	具体的な事業	重要業績評価指標(KPI)	基準値(R1)	R3見込(2年目)	R4(3年目)		R5(4年目) 中間		目標値(R7)	方向性や数値目標の見直しに関する意見	【意見に対する回答】	
				実績値/評価	実績値	具体説明	取組内容・状況	実績値/評価				具体説明
(1)地域を支える人材の育成	学校や家庭だけでなく、地域が子どもを守り育てていく主体の一人であるという意識の醸成を図りながら、地域社会全体で将来の北栄町を担う人材となる子どもへの関わりづくりの取り組みを推進します。 職業体験、SDGsに関する学習、地域課題の探究プログラム、地産地消、地域の観光・産業等を活用した地域における学びの機会を提供し、子ども達の将来の選択肢や可能性を広げます。	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある生徒の割合	【中3】 35.9% (国39.4%) (県40.8%)	【中3】 51.3% (国43.8%) (県45.6%) 順調	【中3】 52.6% (国40.7%) (県42.2%) 順調	令和4年4月19日実施の全国学力・学習状況調査結果より。	<p>・北条、大栄校区ごとにコミュニティスクールを導入し地域の人材を生かした取組を実施 ・小中学校でふるさとキャリア教育、生き方を学ぶ講演会、地元産食材を使った調理実習、SDGsなどに取り組んだ。 ・ほくほくプラザ事業でSDGs推進学習を実施</p>	<p>【中3】 61.2% (国63.9%) (県68.1%)</p> <p>質問事項が「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」に変更</p>	<p>・北条、大栄校区ごとにコミュニティスクールを導入し地域の人材を生かした取組の実践 ・ボランティア活動の周知 ・小中学校でふるさとキャリア教育、生き方を学ぶ講演会、地元産食材を使った調理実習、SDGsについての学習などに取り組んだ。 ・ほくほくプラザ事業でSDGs推進学習を実施 ・地域の人材や北栄ふるさとカルタを活用した青少年育成講座(おもしろまなびタイム)の実施</p>	【中3】 国県数値以上		
(2)教育環境の充実	習熟度に応じた授業やICT教育の導入等による学力の向上、人権教育・体験活動・スポーツ活動・国際理解教育等を通じた豊かな心と健やかな体の育成に取り組めます。また、子ども一人ひとりの状態・状況に応じたきめ細かな個別支援を行います。	全国学力・学習状況調査平均正答率	【小6】 国語61% (国63.8%) (県63%) 算数63% (国66.6%) (県63%)	【小6】 国語66% (国64.7%) (県64%) 算数70% (国69%) (県70.2%) →順調	【小6】 国語57% (国65.6%) (県64%) 算数58% (国63.2%) (県62%) 理科58% (国63.3%) (県63%) →下回っている	令和4年4月19日実施の全国学力・学習状況調査結果より。	<p>・確かな学力づくり 講師招聘による授業研究事業、学力調査(全国学テ・NRT・CRT等)、サマースクール実施なし、学力向上アクション週間の設定、自治会等地域ボランティア学習活動支援事業等</p>	<p>【小6】 国語67% (国67.2%) (県67%) 算数65% (国62.5%) (県61%)</p> <p>【中3】 国語67% (国69.8%) (県69%) 数学46% (国51.0%) (県50%) 英語34% (国45.6%) (県42%)</p>	<p>【小6】 国県数値以上</p> <p>【中3】 国県数値以上</p>	【中間】 荒れている学年は学力も下がる傾向があります。事業を充実させて、幼少期からの継続した子育て施策に取り組んでください。	【回答】 小中学校の現状を注視しながら引き続き事業の充実を図っていきます。	
		不登校児童生徒の出現率	【小学生】 H30:0.64% (国0.69%) (県0.86%) 【中学生】 H30:2.78% (国3.64%) (県3.58%)	【小学生】 1.84% (国不確定) (県1.10%) →出現率が高い 【中学生】 6.01% (国不確定) (県3.80%) →出現率が高い	【小学生】 1.49% (国不確定) (県未公表) →評価なし 【中学生】 6.18% (国不確定) (県未公表) →評価なし	例年の公表時期(2月)に発表されず、評価できない	<p>・豊かな人間関係づくり ハイパーQU調査、いじめ実態調査、北栄町いじめをなくそうサミットの開催、生き方を学ぶ講演会の開催等 ・SSWによるアウトリーチによる支援 ・チーム学校としてSC、SSWによる支援の方向性や情報共有</p>	<p>【小学生】 1.15% (国不確定) (県1.69%) →出現率は低い 【中学生】 5.57% (国不確定) (県5.81%) →出現率は同等</p>	<p>【小学生】 国県数値以下</p> <p>【中学生】 国県数値以下</p>	【中間】 学習支援の効果は？	【回答】 校内教育支援センターの設置や心の相談室、SSW、SCによる相談をとおし、児童生徒の不安や悩みを共有できる居場所づくりや生きる力を育むことにつながっています。	

第3節 移住定住の促進

施策の基本的方向	【基本的方向】 移住に関心はあるが北栄町のことをよく知らない人、北栄町への移住に関心のある人など、それぞれの関心の度合いに応じた情報発信・情報提供を行います。また、移住者への様々な支援を行い、北栄暮らしを応援し、定住へとつなげていきます。	【令和3年度までの評価】		【令和4年度までの評価】			【令和5年度の評価】			【基本的方向に対する意見】		【意見に対する回答】	
		重要目標達成指標(KGI)	基準値(R1)	R3(2年目) 実績値/評価	R4(3年目)			R5(4年目) 中間			目標値(R7)	方向性や数値目標の見直しに関する意見	【意見に対する回答】
		移住者数 ※県への移住者報告数	66人/年	91人/年 順調	実績値	具体説明	取組内容・状況	実績値/評価	具体説明	取組内容・状況	75人/年	【中間】 移住したあとは住み続けていますか？ 移住した人の意見交換の場はありますか？ 移住者に伴い世帯はどれくらい増えました？	【回答】 ・移住奨励金を活用し町外から移住された人の定着率は、R2:97%、R3:97%、R4:100%の状況です。 ・意見交換の場はありません。以前、意見交換の場を作ろうとしましたがニーズがありませんでした。 ・22世帯です。
				63人 R5.3.13現在 やや下回っている	10代9人 20代20人 30代18人 40代7人 50代5人 60代3人 70代1人	・各種補助事業(移住奨励金、若年層移住定住者住宅取得支援補助金、IJU空き家改修支援事業補助金)による支援	27人 やや下回っている	10代3人 20代10人 30代7人 40代3人 60代3人 80代1人	・各種補助事業(移住者住宅取得支援補助金、移住者住宅取得支援補助金若年層加算、IJU空き家改修支援事業補助金)による支援				

具体的施策	具体的施策	具体的な事業	重要業績評価指標(KPI)	基準値(R1)	R3(2年目)	R4(3年目)			R5(4年目) 中間			目標値(R7)	方向性や数値目標の見直しに関する意見	【意見に対する回答】
					実績値/評価	実績値	具体説明	取組内容・状況	実績値/評価	具体説明	取組内容・状況			
(1)情報発信・情報提供体制の構築	都市圏での相談会参加、オンライン相談会開催等による情報発信、移住定住に関する相談窓口の整備等により、移住に関心がある人への積極的な情報提供、体験機会の提供を行います。	・移住定住相談員配置事業による相談窓口のワンストップサービス ・お試し住宅事業 ・地域おこし協力隊事業	移住相談会へ参加	8回/年	10回/年 順調	6回 やや遅れている	・移住相談会への参加(10月、12月、1月)	・移住相談会への参加、町独自のオンライン相談会の開催。窓口での相談受付	移住相談会への参加3回 おおむね順調	・移住相談会へ参加(5.6.9月) ・町独自のオンライン相談会3回	・移住相談会への参加、町独自のオンライン相談会の開催。窓口での相談受付	10回/年		
(2)北栄暮らしの支援	北栄町への移住を促進するための各種支援を行います。	・移住奨励金事業 ・若年層移住定住者住宅取得補助金事業(対象:18歳~45歳) ・空き家家財処分費補助金事業 ・IJUターン空き家改修支援補助金事業 ・Uターン者就職活動交通費補助金事業 ・空き家情報バンク事業	県外転入者の移住奨励金利用件数 ※住宅取得又は空き家情報バンク物件の賃借	2件/年	4件/年 順調	4件 概ね順調	・新築3件、賃貸1件	・県外転入者に対して、移住奨励金等該当の補助金を交付。	1件 遅れている	・家財道具処分1件	・県外転入者に対して、移住奨励金等該当の補助金を交付。	5件/年		
(3)北栄暮らしの魅力向上に向けた総合的な検討	北栄町への移住定住者を増やしていくためには、大前提として、北栄町における暮らしの魅力そのものを向上させていくことが何より重要となります。このため、今後の社会情勢の変化や移住者の方々を含めた町民からの意見も踏まえつつ、通信環境・交通手段等のインフラにおける課題、土地の利活用における課題等、北栄町が「住み続けたいまち」として選ばれるに当たっての課題について総合的に整理し、新たな政策の検討を行っていきます。		—	—	— 評価なし	— 評価なし	北栄町の移住定住者の増加に向けた様々な施策を総合的に実施。 令和3年度は広域連合による中部の地域間の連携強化による関係人口増加にも取り組んだ。 数値的な比較基準がないため「評価なし」としている	— 評価なし	—	北栄町の移住定住者の増加に向けた様々な施策を総合的に実施。 令和5年度は鳥取県全体として移住者数増加を図るため相談会の拡充や広報の方法の改良に取り組んでいる。 数値的な比較基準がないため「評価なし」としている	—			